

プロジェクトタイトル	リニューアル版榎本石鹼の開発と商品化検証 ー化学と歴史学による文理融合研究ー
プロジェクト代表者	商学部一般教育系 沼田 ゆかり

### 1. プロジェクトの目的・概要

本プロジェクトでは榎本武揚が書き残した「石鹼製造法」および榎本の兄が創設した江水舎が開発した石鹼をもとにリニューアル版榎本石鹼を開発し、試作品を製造、商品化へ向け使用感等に関するアンケート調査を実施した。榎本武揚は、小樽における不在地主として当市の発展に大きく貢献したことで知られるが、本学前身である高商を誘致する際に寄付活動を先導するなど本学とも深い関わりがある。昨年度のプロジェクトでは「石鹼製造法」を読解し、榎本石鹼を復刻することで、榎本の化学者の特性の検証を行った。これらの成果をもとに開発したリニューアル版榎本石鹼は、地域活性化の新たな材料となることが見込まれる。本プロジェクトは榎本の化学者の特性を歴史学と化学の双方から分析する学際的な研究としてだけでなく、その成果の一部を地域活性化のために活かそうとするものである。

### 2. 具体的な取組内容

本学化学実験室にてリニューアル版榎本石鹼の製造レシピの選定を行った。その結果、「石鹼製造法」に記されていた冷製石鹼の製造法で用いられたスイートアーモンドオイルの他、江水舎が原料として用いたヤシ油、現在石鹼製造によく用いられているパーム油をリニューアル版石鹼の原料成分に決定した。また、幕末から明治時代の石鹼(「磯右エ門 SAVON」玉の肌石鹼(株))やビール(「幸民麦酒」小西酒造(株))、コーヒー(「津山榕庵珈琲」(有)ばんこく津山)が復刻され継続的に販売されていることがわかった。そこで、昨年度のプロジェクトで調製した復刻版榎本石鹼も製造委託し、商品化の検証を実施することとした。

化粧品 OEM 会社である旭川市の(株)MARVELOUS と契約を結び、石鹼 2 種を製造した(原料油脂は添付資料 1-1 を参照)。パッケージに関して、小樽商大との共同開発による小樽に関連したお土産の製造・販売に興味を示した小樽市のうながぶらす(株)と契約を結び、パッケージを作製した(添付資料 1-2)。

2023 年 3 月 19 日に小樽経済センターにてシンポジウムを開催し、製造した石鹼を配布、使用感等に関するアンケートを実施した。



図 製造した榎本石鹼  
右：リニューアル版 左：復刻版

### 3. プロジェクトの成果及び地域への還元

実験室レベルでの石鹼復刻および開発から、実際に委託製造による石鹼製造までスケールアップすることができた。現時点において、商品化には製造工程や原料油脂の改良が必要であることが明らかになった。また、小樽市内の企業とパッケージを作製する過程で、今後のマーケティングの方向性について絞り込むことができた。シンポジウムを開催し、広く市民に活動を知ってもらうことで地域へプロジェクト成果を還元した。

小樽商科大学主催

グローバルプロジェクトシンポジウム

地域密着型大学における文理融合研究の最先端

小樽  
商大発

# 榎本石鹼

本学の前身・小樽高等商業学校の誘致に尽力した榎本武揚が、幕末のオランダ留学で学んだ化学の知識から執筆した石鹼製造のレシピを読み解き、明治時代の石鹼を可能な限り忠実に復刻。本学開学以来の高商石鹼作りの伝統が、最先端の文理融合研究により姿形を変え今ここに甦る。

挨拶

小樽商科大学学長 穴沢眞

講演

小樽高商の開学理念と高商石鹼

商学部一般教育系 准教授 宮田賢人  
(倫理学担当)

講演

化学者榎本武揚と石鹼

商学部一般教育系 准教授 醍醐龍馬  
(歴史学担当)

講演

榎本武揚「石鹼製造法」の  
石鹼復刻と榎本石鹼

商学部一般教育系 教授 沼田ゆかり  
(化学担当)



ご来場者には  
榎本石鹼  
を進呈！  
お申込みはお早めに！



日時：2023年3月19日（日）

14：00～16：00

（開場13：30）

会場：小樽経済センター7階

申込方法：事前申込制

（参加無料/先着70名）

▶右記のQRコードよりお申込みください。

▶お問合せ先：genesympo@gmail.com



パネルディスカッション

【テーマ：文理融合研究の可能性を考える】

【ファシリテーター】

グローバル戦略推進センター准教授 藤江稔

【パネラー】

醍醐龍馬、沼田ゆかり、宮田賢人

【協力】

うながばらす株式会社、株式会社MARVELOUS

【後援】

小樽市、小樽市教育委員会、小樽商工会議所  
（一社）小樽観光協会、小樽都通り商店街振興組合  
小樽市商店街振興組合連合会、（株）北海道新聞社

## 講演者・ファシリテーター紹介

### 【講演者】

#### ● 醍醐 龍馬

小樽商科大学商学部一般教育系  
准教授、博士(法学)

##### 【略歴】

2014年4月～2017年3月 日本学術振興会特別研究員(DC1)。2017年 大阪大学大学院法学研究科博士後期課程修了。2017年 大阪大学大学院法学研究科助教を経て2018年より現職。

専門: 日本政治外交史、日露関係史

研究キーワード: 榎本武揚、黒田清隆、樺太千島交換条約、大津事件、ポーツマス条約

#### ● 沼田 ゆかり

小樽商科大学商学部一般教育系  
教授、博士(工学)

##### 【略歴】

2004年 北海道大学大学院工学研究科博士後期課程修了。2005年 旭川工業高等専門学校物質化学工学科助手・助教、2010年 同准教授、2013年 小樽商科大学商学部一般教育系准教授を経て2015年より現職。

専門: 高分子材料、高分子化学

研究キーワード: セルロース、バクテリアセルロース(ナタデココ)、複合材料、構造

#### ● 宮田 賢人

小樽商科大学商学部一般教育系  
准教授、博士(法学)

##### 【略歴】

2018年4月～2020年3月 日本学術振興会特別研究員(DC2)。2020年3月 大阪大学大学院法学研究科博士後期課程修了。同年4月より現職。

専門: 法哲学を中心とする実践哲学、社会哲学

研究キーワード: 討議理論、現象学、法現象学、徳倫理学

### 【ファシリテーター】

#### ● 藤江 稔

小樽商科大学グローバル戦略推進センター  
准教授、修士(工学)

##### 【略歴】

2006年北海道大学大学院工学研究科修士課程修了。同年、経済産業省北海道経済産業局に入局。経済産業省大学連携推進課、北海道経済産業局製造・情報産業課など、産学官連携やイノベーション関係の部署を経て、2021年より現職。

専門: 産学官連携、スタートアップ、イノベーション